

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																								
事業実施地区名 （都道府県名）	（くまがわ） 球磨川森林計画区 （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>球磨川森林計画区は、熊本県南部に位置し、球磨川の源流部から河口部までの37,064haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の最源流部は、針広混交林の天然林で九州中央山地国定公園等に指定されているとともに、九州中央山地森林生物遺伝資源保存林が設定されており、自然景観の保全・形成及び学術研究等に重要な役割を果たしている。また、水源かん養保安林を主体とした保安林がほとんどであり、下流域の八代市、人吉市及び水俣市等の水がめとして重要な役割を担っている。さらに、従来よりスギ、ヒノキの人工造林が盛んであり、豊かな資源を利用した木材加工業が高度に発達しており地域の重要な産業となっている。</p> <p>本事業は、これらの状況を踏まえながら、国有林の有する水源かん養機能や保健文化機能など公益的機能の維持増進に重点を置きつつ、持続可能な森林経営に資するための路網整備を推進しながら適切な森林整備等を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>497 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,350 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.3 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>6.6 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	497 ha		保育面積	11,350 ha	路網整備	開設延長	19.3 km		改良延長	6.6 km												
森林整備	更新面積	497 ha																									
	保育面積	11,350 ha																									
路網整備	開設延長	19.3 km																									
	改良延長	6.6 km																									
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用（C）</td> <td></td> <td>3,899,720 千円</td> </tr> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>水源かん養便益</td> <td>10,949,448 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td>3,788,405 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>936,435 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td>5,630,336 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>284,741 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>21,589,365 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td></td> <td>5.54</td> </tr> </table>			総費用（C）		3,899,720 千円	総便益（B）	水源かん養便益	10,949,448 千円		山地保全便益	3,788,405 千円		環境保全便益	936,435 千円		木材生産便益	5,630,336 千円		森林整備経費縮減等便益	284,741 千円		計	21,589,365 千円	分析結果（B/C）		5.54
総費用（C）		3,899,720 千円																									
総便益（B）	水源かん養便益	10,949,448 千円																									
	山地保全便益	3,788,405 千円																									
	環境保全便益	936,435 千円																									
	木材生産便益	5,630,336 千円																									
	森林整備経費縮減等便益	284,741 千円																									
	計	21,589,365 千円																									
分析結果（B/C）		5.54																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮に対する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										